



地域学校協働本部だより

令和6年9月17日発行
港区立赤羽小学校 校長
地域コーディネーター

NO.7
中村 美奈子
石川 啓子
大藪 淳子
袖田 正子
地域学校協働本部担当
小林 砂織
西之原 理恵子

お月見装飾

夏が終わり秋の気配を感じるころになりました。今回はお月見がテーマです。お月見団子とスキの周りを、かわいいうさぎが元気よく楽しそうに飛び回っています。

りんどうやコスモスの花が秋の訪れを感じさせてくれます。赤羽小の子供たちがかわいいうさぎのように、元気よく学校で過ごしてくれるのを願って作りました。来校した際は、ぜひご覧ください。



白露とは、露が降り、白く輝くように見える頃という意味です。

夜の気温がぐっと下がって空気中の水蒸気が冷やされると、水滴になって葉や草花につくようになります。それが露（朝露）。日中はまだ残暑が続いていますが、朝晩は冷えるようになり、朝露が降り始める時期をあらわしています。白露の期間は、9月7日から秋分の日前までを言います。白露の前は暑さがおさまる頃という意味の「処暑」、白露の次は昼夜の長さがほぼ同じになって秋の夜長に向かう「秋分」となります。

秋になっていくのを感じてほしいです。



コスモスが咲き、菊も咲き秋に・・・

地域協働本部の話(2) ～地域の方とともに～

- ① 梶の木・・・平安の頃、仮名草子が出来た頃の話です。まだまだ、紙が高価な頃、手習いは、木の葉などを使っていました。七夕の願いをこの梶の木の葉に書く習慣が皇室には残っていると聞いたことがあります。その梶の木を近所の方が、新校舎が立つ所にあり、由緒あるこの木を猫塚近くに移植したそうです。
- ② 12月17日(火) 今年も1年生の生活科「昔遊び」をお手伝いします。
- ③ ボランティア募集は、後日致します。よろしくお願いいたします。